

臨時市議会
1月23日開催される

給食センター用地の買収

19年度より中学校給食実施へ



23日に臨時市議会が開催されました。臨時会では、ネットワーク議員団が提案した、民主主義否定の議員定数削減案が反対多数で否決されました。また、今議会では、中学校給食の実施へ、給食センター用地の買収議案が議決されました。

これにより19年度から市内全中学校で給食が実施されます。

教育の一環としての給食推進を

臨時議会では、19年度から全中学校で給食を実施するための給食センター建設の用地買収議案が提案されました。用地は八夫地先で、面積は10541㎡、1億846万円となっております。

給食センター建設問題では、当初、予定地は今回と同じ八夫地先(湖南病院隣接地)でしたが、同地が野洲川土地改良区の受益地であり建設が不可能であることが買収交渉に入ってから明らかになるなど、当局の調査不足や怠慢が露呈しました。今議会では、新たな用地買収

議案とともに、当初の用地交渉と関連し、地権者に損害を与えた補償費も提案されました。当局の初歩的ミスで公費の損害補償まで至る中、責任の所在を明らかにすることが必要です。

旧野洲町での中学校給食の実施を求めてきました。多くの市民が求めてきた自校方式とはかけ離れています。学校給食が教育の一環として位置づけられ、食育教育の推進と食の安全を最優先し、地産地消の給食を求めます。

介護保険料を大幅値上げへ

市は来年度(H18年度)の野洲市介護保険料案(65歳以上)を17日の議会全員協議会で明らかにしました。

これによりますと、下表のように、現行3947円(基準額・月額)を13%値上げて4460円にするというものです。

日本共産党議員団は、一貫して、「値上げをやめること。所得の低い方々への保険料の減額免除制度を実施すること」を求めてきました。しかし、市は、「受益者負担の原則」を盾に拒否。市民の願いに背を向けています。

昨年10月からは、施設入所などで、食費やホテルコストなど、高負担が強行されている中、2年連続の大幅な値上げは許されません。

減免制度実施の願いも否定

	合併前	現行	値上げ案
旧中主町	2533	3947	4460
旧野洲町	2589		

保険料(65歳以上)は基準額(月額=円)

民主主義否定の議員削減を提案

ネットワーク野洲

定数条例案の態度

日本共産党	ネットワーク野洲	公明党	豊政会

=反対 =賛成

臨時議会では、「ネットワーク野洲」議員団が提案した、定数削減案(24名を18名に)を反対多数で否決しました。

同議員団の削減理由は、「財源の有効活用」「無駄の排除」。同時に、市報酬審議会答申の議員報酬引き上げ案と関連し、「改革の範を示す」というものです。

議員は、市民の要求を市政に反映する。市政を市民の立場でチェックする、という役割があります。これにより地方自治法では野洲市の場合、26名の定数を定めています。しかし、合併前34名(中主14、野洲20)の議員を24名に削減(次回選挙22名)され市民の声を大幅に制限しています。

今回、「無駄の排除」「定数削減」として定数削減を提案したネットワーク野洲議員団ですが、「無駄の排除」というのであれば、やるべきことは、新幹線新駅への無駄な負担や同和行政の見直し・廃止など、市民の立場で市政をチェックすることです。

議会制民主主義を否定する議員定数削減は、市民の声を制限し、ひいては暮らし優先の市政推進を否定するものです。

訂正

1月22日付の「やす民報」の野洲市、定数削減案の提案案は、ネットワーク野洲でした。訂正します。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年1月29日 67

暮らしの相談、ご要望を
お気軽にお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話)589-4971

野並享子 北野117-10 (電話)587-0985